

2013 年度日本木材学会中部支部大会(富山)のご報告

中部支部長 金山公三

11月14日(木)～15日(金)に、この時季の北陸には珍しいほどの好天に恵まれた富山市で開催しました。富山県農林水産総合技術センター木材研究所の森松亮所長を実行委員長とし、富山大学の堀江秀夫教授によるサポート、そして研究所や大学の皆様のご協力により下記の通りの盛会となりました。

富山国際会議場での研究発表会は参加者112名(学生28名を含む)で、口頭発表が30件、ポスター発表が32件の活発なものでした。このため、例年は2会場の口頭発表を3会場に増やしました。また、ポスター発表の横に企業展示コーナーも設けて産学官の交流促進を図りました。

この後、近くの富山県民会館に場所を移し66名が参加して懇親会を行いました。本部からご参加の杉山淳司会長からは、「研究発表の元気さ、人柄や土地柄の良さについてユニークな語り口での賞賛と激励」の言葉を頂きました。また、富山県農林水産部森林政策課の荒屋健治課長より歓迎の挨拶と「富山の美味しい酒」の紹介があり、取り揃えられた名酒を潤滑剤として懇親会が盛り上がりました。時間の経過とともに、常連の参加者が積極的に初参加の企業の方々や学生に声を掛けて、会場のあちこちで研究や世間話などの花が咲き、文字通りの懇親会となりました。最後に、信州大学の武田孝志教授の中締めの挨拶と、来年度の支部大会(日程:平成26年10月16日(木)～17日(金)、会場:伊那市のホール「いなっせ」)の紹介がありました。

懇親会に先立って、優秀発表賞5件の表彰を行いました。賞状と記念品(教科書)を贈るとともに、ここに記して栄誉を祝したいと思います。

- ① 裸子植物 *Gnetum gnemon* が作る特異なあて材
(名大院生命農)○白井達也, 松尾美幸, 田中緑, 吉田正人, 山本浩之,
(Mulawarman Univ.) Abubakar M. Lahjie
- ② 伝統的構法の実大振動実験に基づく耐震性能評価
(富山木研)○清水秀丸, (立命館大)鈴木祥之
- ③ 野生型エノキタケの無殺菌培養の開発
(富山森研)○高畠幸司
- ④ 広葉樹材の材質を支配する組織構造因子
(名大院生命農)○稲継実栗, 松尾美幸, 佐藤彩織, 吉田正人, 山本浩之,
(愛知県林業セ)豊嶋勲, 鈴木祥仁, 山下昇
- ⑤ 木質系材料の流動成形における調色技術の開発
(岐セン(株))○杉野秀明, 山下達也,
(産総研)三木恒久, 関雅子, 重松一典, 金山公三

翌15日(金)には、53名が参加して岩瀬地区の伝統的木造建築群を中心とした見学会を行いました。ここにも多くの学生が参加し、研究開発に必須の好奇心旺盛な面を見せており、頼もしい

将来性を感じさせてくれました。

最後になりましたが、大会の準備、運営にご協力を頂きました多くの方々、多くの学協会の事業が目白押しの多忙な中にも関わらず参加して下さいました多くの産学官の会員の方々に感謝致します。また、研究の取りまとめ時期の影響などで、開催時期が都合が良かったとの理由で他支部からも参加して頂き、支部の壁を越えた交流という意味で有意義だったと感じました。学会によっては年に2回の全国大会を開催している場合も有ります。活発な学会活動を促進するための手段として、支部内部の活性化のみではなく、他支部との交流も有効かも知れないというヒントをもらえた「個人的」には感じました。